

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和８・９年度海の中道 事業評価検討外業務
業 務 概 要	計画準備1式, 費用対効果分析1式, 残事業投資効率性の妥当性検証1式, 事業評価監視委員会資料（案）作成1式, 協議会運営補助等1式, 公園整備・管理で発現したストック効果の整理1式, 報告書作成1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 国営海の中道海浜公園事務所長 酒井 翔平 福岡市東区大字西戸崎１８－２５
契 約 年 月 日	令和 ８ 年 ８ 月 ２ ７ 日
契 約 業 者 名	（株）建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名２－４－１２
契 約 金 額	２９，９９７，０００円（税込み）
予 定 価 格	２９，９９７，０００円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡県福岡市東区大字西戸崎１８－２５ 海の中道海浜公園内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （自）	令和 ８ 年 ８ 月 ２ ８ 日
履 行 期 間 （至）	令和１０年 １ 月 ３ １ 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和8・9年度年度海の中道 事業評価検討外業務
2. 履行場所 福岡市東区大字西戸崎 18-25 海の中道海浜公園内
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：(092)714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るために、海の中道海浜公園における費用対効果分析を検討・整理し、事業評価監視委員会に向け、本公園における事業の効率性・必要性を分かりやすく説明するための資料作成、魅力向上推進協議会の運営補助、公園整備・管理で発現したストック効果の整理を行う業務である。

2) 業務の内容

計画準備 1 式 費用対効果分析 1 式 残事業投資効率性の妥当性検証 1 式
事業評価監視委員会資料（案）作成 1 式 協議会の運営補助等 1 式
公園整備・管理で発現したストック効果の整理 1 式 報告書作成 1 式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「事業評価における適切な費用対効果分析と公園のストック効果の分かりやすい説明を実施する際の留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「事業評価における適切な費用対効果分析と公園のストック効果の分かりやすい説明を実施する際の留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

国営海の中道海浜公園事務所 調査設計課長